

[Japanese Only]

日本図書館協会 > [利用教育委員会](#) > 全国図書館大会 >

全国図書館大会記録

最終更新：2007年7月6日

1995年（新潟）

- 分科会テーマ：「利用者の自立をいかに支援するか」
- 利用教育の理念と基礎理論を展開。

1996年（大分）

- 分科会テーマ：「図書館をいかに“売る”か」
- 図書館の認知・満足度向上のマーケティング戦略を考察。

1997年（山梨）

- 分科会テーマ：「図書館を変える《情報インストラクター》へ！」
- 実践講座を開催。

1998年（秋田）

- 分科会テーマ：「始めよう指導サービス、めざそう情報インストラクター！」
- ポスターセッション形式で参加者同士のアイデア交流サロンを設置。

1999年（滋賀）

- 分科会テーマ：「インターネット時代の情報リテラシー支援～指導サービスのための実践アイデア交流サロン～」
- 会場：大津市医師会館
- 分科会参加者：111名（公共39名、大学30名、短大12名、高校7名、専門7名、その他8名）
- 基調講演

「ライフスキルとしての情報リテラシー」

青木 玲子（東京ウィメンズプラザ図書資料室）

- **事例発表**

「市民サービスとしての情報利用支援」

原 勇次（神奈川県立川崎図書館）

「学習スタイルを変革する情報リテラシー」

清 ルミ（常葉学園大学）

- **交流サロン（ポスターセッション）**

「アメリカの公共図書館における利用教育」

前川 和子（堺女子短期大学）

「ホームページ紹介～インターネット対応の県立図書館情報ネットワークへの足掛り～」

原 勇次（神奈川県立川崎図書館）

「利用促進大作戦～情報リテラシーサポートあの手この手～」

青木 緑（常葉学園大学附属図書館）

「全学共通科目＜情報探索入門＞における図書館員の役割」

平元 みさえ（京都大学附属図書館）

「インターネット指導サービスネットワーク～エンパワーメント支援を目指して～」

青木玲子（東京ウィメンズプラザ図書資料室）

「図書館サービスのマルチプラットフォームとしてのインフォメーションシステム」

谷中 信裕（実践女子大学図書館）

「イメージ戦略としての図書館グッズを考える～既製グッズの活用と自館オリジナル開発の勧め～」

仁上 幸治（早稲田大学図書館）

「利用教育教材・広報ツール展示」

「利用教育委員会なんでも相談コーナー」

「Lead Plus」デモンストレーション

テクニカル・ブレイン

「新・図書館の達人」ビデオシリーズ上映

紀伊国屋書店

2000年（沖縄）

- **分科会テーマ**：「情報リテラシー支援の最前線へ―事例・教材・ノウハウの交流サロン―」

- **会場**：沖縄県青年会館
- **分科会参加者**：124名（大学60名、公共29名、専門他15名、学校14名、不明6名）
- **基調講演**

「情報リテラシーの最前線—企業におけるビジネスリテラシーの現状」
早川芳敬（国際ビジネス研究センター主任研究員）

- **事例発表**

「利用教育サービスの夜明け—公共図書館で図書館活用講座を実施して—」
池田祥子（東京都立中央図書館）

「情報リテラシー教科目をどう設置するか—ゼミから始めて全学展開—」
遠山潤（久留米大学文学部）

- **交流サロン（ポスターセッション）**

「“学びたい人が学びたい時に”を強力サポート—市民向け情報講習会の実施方法—」
木下みゆき（ドーンセンター）

「教員向け出前サービスの効能—ガイダンスから授業内講習会の開催—」
川路孝昭（鹿児島純心女子短期大学図書館）

「広報活動から利用者教育へ—理想の図書館像をめざして—」
角田房子（桃山学院大学図書館）

「生徒と考える情報の活用—学校図書館ではじまる情報リテラシー指導—」
有吉末充（神奈川県立神奈川工業高校図書室）

糸数朋子（昭和薬科大学附属高等学校中学校図書館）

「ウェブサイトの評価指導」

野末俊比古（青山学院大学文学部）

「情報評価の指導—情報を批判的に見る目を育てよう—」

平久江祐司（図書館情報大学）

「共同利用パスファインダーバンクの研究開発—ツールの共有化と個別化の両立を求めて—」

私立大学図書館協会企画広報研究分科会

仁上幸治（早稲田大国際教育センター図書室）

河上純子（帝京大学図書館）

辺見学（文教大学越谷図書館）

「心にいつも？マークを—情報の批判的読みと選択の指導例—」

コーンハウザ由香子（大阪女学院短期大学）

「利用教育教材・広報ツール展示」

「ALA Read ポスター展示」

「Lead Plus」デモンストレーション

テクニカル・ブレイン

「新・図書館の達人」ビデオシリーズ上映

紀伊国屋書店

- 大きな成果としては、全体会場、武道館において利用教育教材グッズの展示即売を実施したことである。ポスター、しおり、Tシャツなど、大会参加記念に、お土産に、また図書館での活用にと、参加者に好評であった。

2001年（岐阜）

- **分科会テーマ**：「情報発信支援サービスの未来像：2010年に必要な技術＋コンテンツ＋構成力を今から培おう」

2002年（群馬）

- **分科会テーマ**：「eラーニング時代の個人学習支援：ホームページを活用した指導サービスの可能性」

- **基調講演**

「情報産業が描くeラーニング戦略ーマーケットとしての生涯学習ー」

上田純美礼（マーケティングコンサルタント）

- **事例発表**

「《ネットでアカデミック on Web》が目指すものー情報リテラシー教育支援の展開と推進ー」

市村櫻子（東京大学情報基盤センター）

- **交流サロン（ポスターセッション）**

市村櫻子（東京大学情報基盤センター）

志村剛和（静岡県立中央図書館）

矢崎省三（東京農工大学附属図書館）

小松泰信（京都精華大学情報館）

高橋克明(横浜市立大学学術情報センター)
佐橋はるな (神奈川県立霧が丘高等学校図書館)
江口愛子・合田美恵子 (国立女性教育会館)
利用教育教材・広報ツール展示
(テクニカルブ レイン/紀伊國屋書店)

2007年(東京)

- 分科会テーマ:「みんなで創ろう図書館利用教育! : 実践アイデア交流広場」
- ポスターセッション

「京都大学における図書館利用教育: 学生と図書館員との知識・技能の連環をめざして」

天野絵里子 (京都大学附属図書館)

「「東北大学生のための情報探索の基礎知識」のあゆみ」

渡邊愛子, 藤澤こず江 (東北大学附属図書館)

「慶応義塾大学における KITIE と PATH を利用した情報リテラシー教育」

上岡真紀子 (慶應義塾大学理工学メディアセンター), 市古みどり (慶應義塾大学信濃町メディアセンター)

「聖路加看護大学図書館の事例: 『図書館利用教育ガイドライン—大学図書館版—』 10項目による評価の試み」

松本直子 (聖路加看護大学図書館)

「プロモーション・スライドと新たな利用支援」

森谷芳浩 (神奈川県立川崎図書館)

「LibraryNAVI (ライブラリー・ナビ) を使った情報リテラシー教育」

松田ユリ子 (神奈川県立相原高校), 宮永敏明 (神奈川県立小田原城東高校)

「利用者と共に創る女性センターの利用教育: KNOW-HOW 会議 MEXICO・グラスゴー女性図書館の事例から」

青木玲子 (埼玉県男女共同参画推進センター)

「利用教育教材展示」

紀伊国屋書店

「図書館利用教育委員会の歩み展示」

図書館利用教育委員会

- パネルディスカッション

コーディネーター

丸本郁子 (大阪女学院短期大学名誉教授, 元図書館利用教育委員会委員長)

司会

戸田光昭（駿河大学名誉教授，図書館利用教育委員会委員）

パネラー

天野絵里子（京都大学附属図書館）

渡邊愛子（東北大学附属図書館）

上岡真紀子（慶應義塾大学理工学メディアセンター）

森谷芳浩（神奈川県立川崎図書館）

松田ユリ子（神奈川県立相原高校）

利用教育委員会 [トップページ](#) へ戻る

(C) 2007 JLA-CUE

お問合せは日本図書館協会「利用教育委員会担当」まで

E-MAIL: kuboki@jla.or.jp